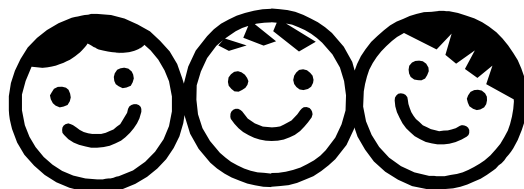


高 校 生 の 男 女 共 同 参 画 と D V 対 する 男 女 の 意 識 に 関 する ア ン ケ ー ト 調 査 結 果 に つ い て



令和6年2月

鹿角市市民部生活環境課

調査の概要

1. 調査目的

本市では、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などにより、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指しています。

本調査は、高校生における男女共同参画と男女間のDV意識に関する実態の把握を行い、DVについての認識を浸透させるとともに、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的としています。

2. 調査対象

花輪高校1年生、十和田高校2年生を対象としました。

3. 調査方法

対象の148人に対して学校を通じて調査票を配付し、記入後回収しています。

4. 調査期間

令和5年12月14日（木）から令和6年1月17日（水）まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について・・・P1
- ・学校における男女共同参画について・・・P4
- ・結婚、家庭、離婚に対する考え方について・・・P5
- ・性別により役割や責任が固定される考え方について・・・P10
- ・デートDVについて・・・P11
- ・DV行為に対する意識について・・・P13
- ・DV行為に関する相談機関について・・・P27
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて・・・P28

6. 調査結果

調査票送付数	148
調査票回収数	135
回収率	91.2%

7. 調査結果の公表について

本調査の集計結果は、各校に配付するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料とします。

8. その他

割合の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計は100%にならない場合があります。

○回答者の属性

問1. あなたの性別は。

	人数(人)	割合(%)
男 性	74	54.8
女 性	61	45.2
計	135	100.0

○調査の結果

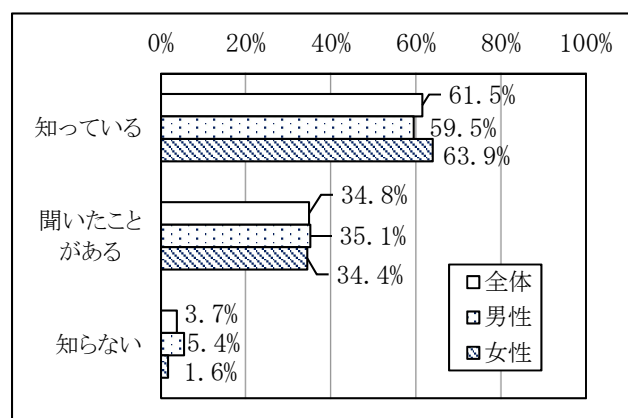
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

6割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

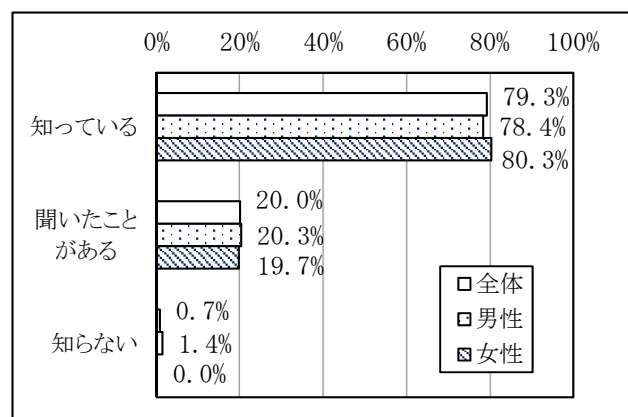
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	83	61.5	44	59.5	39	63.9
聞いたことがある	47	34.8	26	35.1	21	34.4
知らない	5	3.7	4	5.4	1	1.6
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



(2) ワーク・ライフ・バランス

約8割の生徒が「知っている」と回答しました。

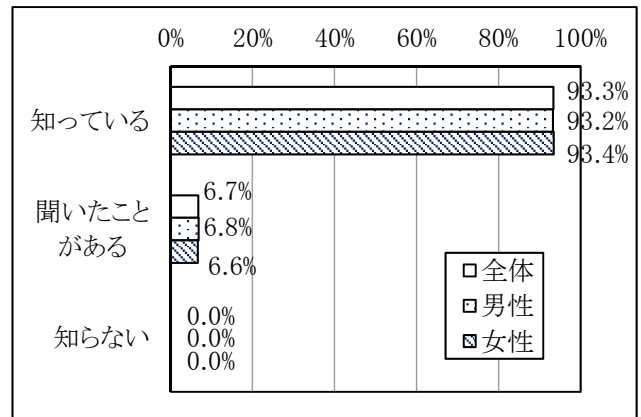
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	107	79.3	58	78.4	49	80.3
聞いたことがある	27	20.0	15	20.3	12	19.7
知らない	1	0.7	1	1.4	0	0.0
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



(3) DV

9割以上の生徒が「知っている」と回答しました。また、「知らない」と回答した生徒はいませんでした。

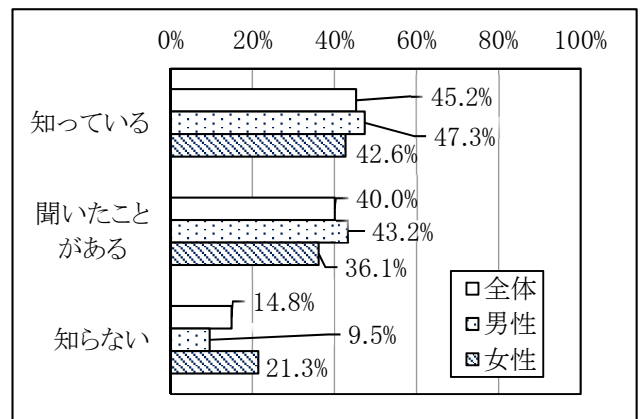
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	126	93.3	69	93.2	57	93.4
聞いたことがある	9	6.7	5	6.8	4	6.6
知らない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



(4) 育児・介護休業法

4割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

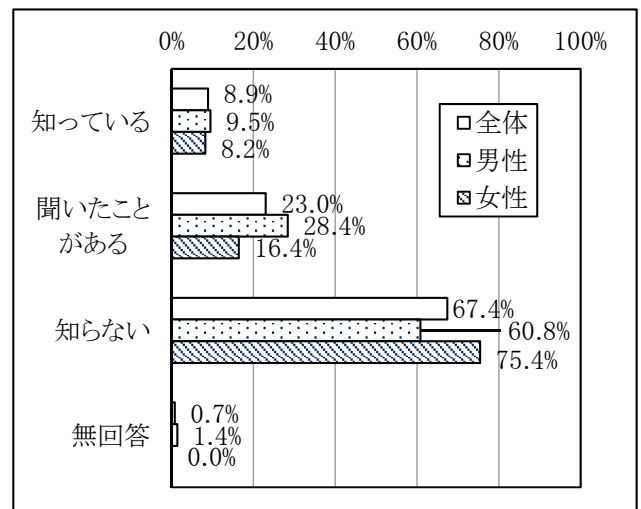
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	61	45.2	35	47.3	26	42.6
聞いたことがある	54	40.0	32	43.2	22	36.1
知らない	20	14.8	7	9.5	13	21.3
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



(5) 固定的性別役割分担

6割以上の生徒が「知らない」と回答しました。

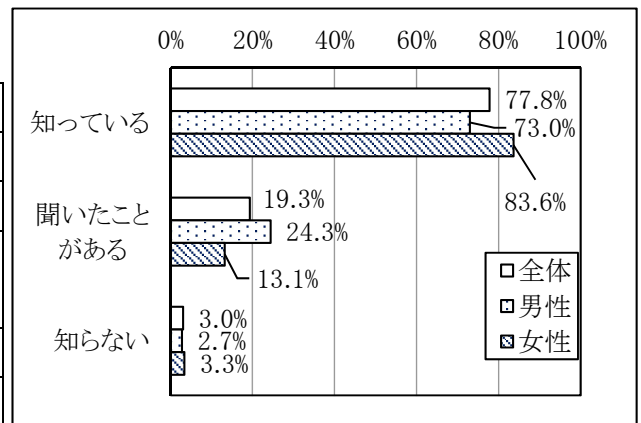
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	12	8.9	7	9.5	5	8.2
聞いたことがある	31	23.0	21	28.4	10	16.4
知らない	91	67.4	45	60.8	46	75.4
無回答	1	0.7	1	1.4	0	0.0
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



(6) L G B T

7割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	105	77.8	54	73.0	51	83.6
聞いたことがある	26	19.3	18	24.3	8	13.1
知らない	4	3.0	2	2.7	2	3.3
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



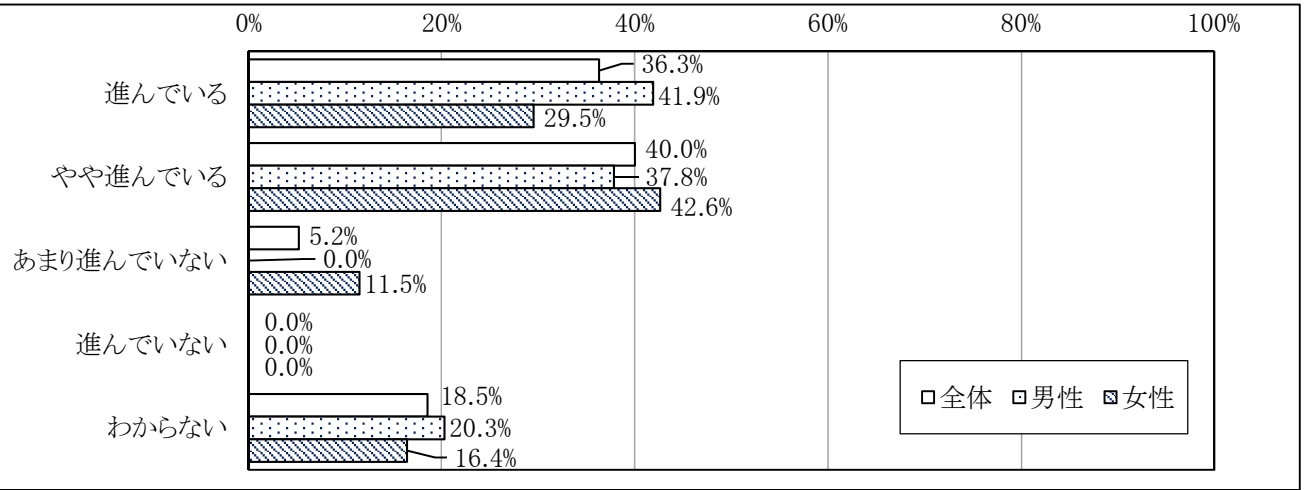
○「ワーク・ライフ・バランス」と「L G B T」という用語について、昨年度より「知っている」の割合が、「ワーク・ライフ・バランス」は2.8ポイント、「L G B T」は1.3ポイント増加しました。「固定的性別役割分担」という用語について、「知らない」の割合が昨年度の42.3%から25.1ポイント増加しています。

・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

7割以上の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
進んでいる	49	36.3	76.3	31	41.9	79.7	18	29.5	72.1
やや進んでいる	54	40.0		28	37.8		26	42.6	
あまり進んでいない	7	5.2	5.2	0	0.0	0.0	7	11.5	11.5
進んでいない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
わからない	25	18.5		15	20.3		10	16.4	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



○「進んでいる」または「やや進んでいる」の回答について、昨年度より9.2ポイント高くなりました。男女別では、昨年度は女性が男性より6.3ポイント高くなりましたが、今年度は男性が女性より7.6ポイント高くなりました。

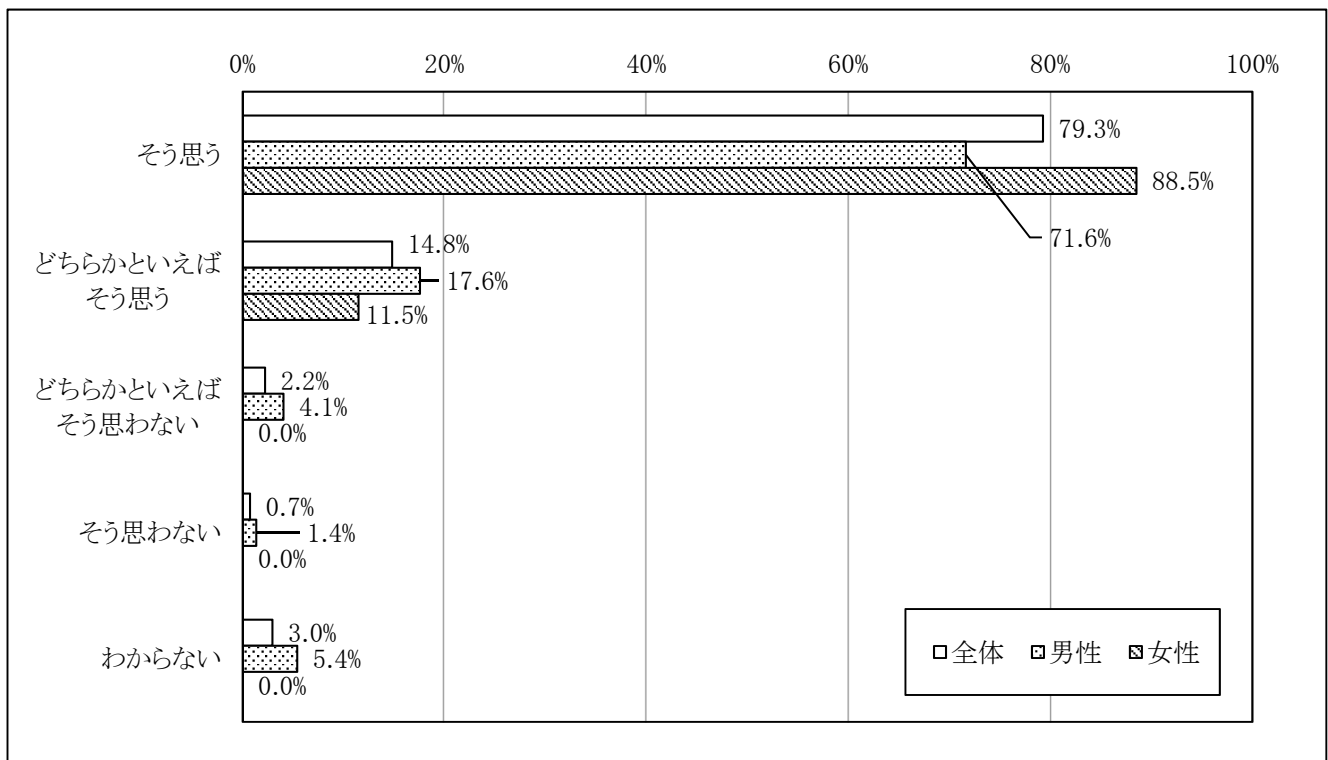
・結婚、家庭、離婚に対する考え方について

問4. 結婚、家庭、離婚に関する次の考え方について、あなたはどのように思いますか。

(1)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性全員が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

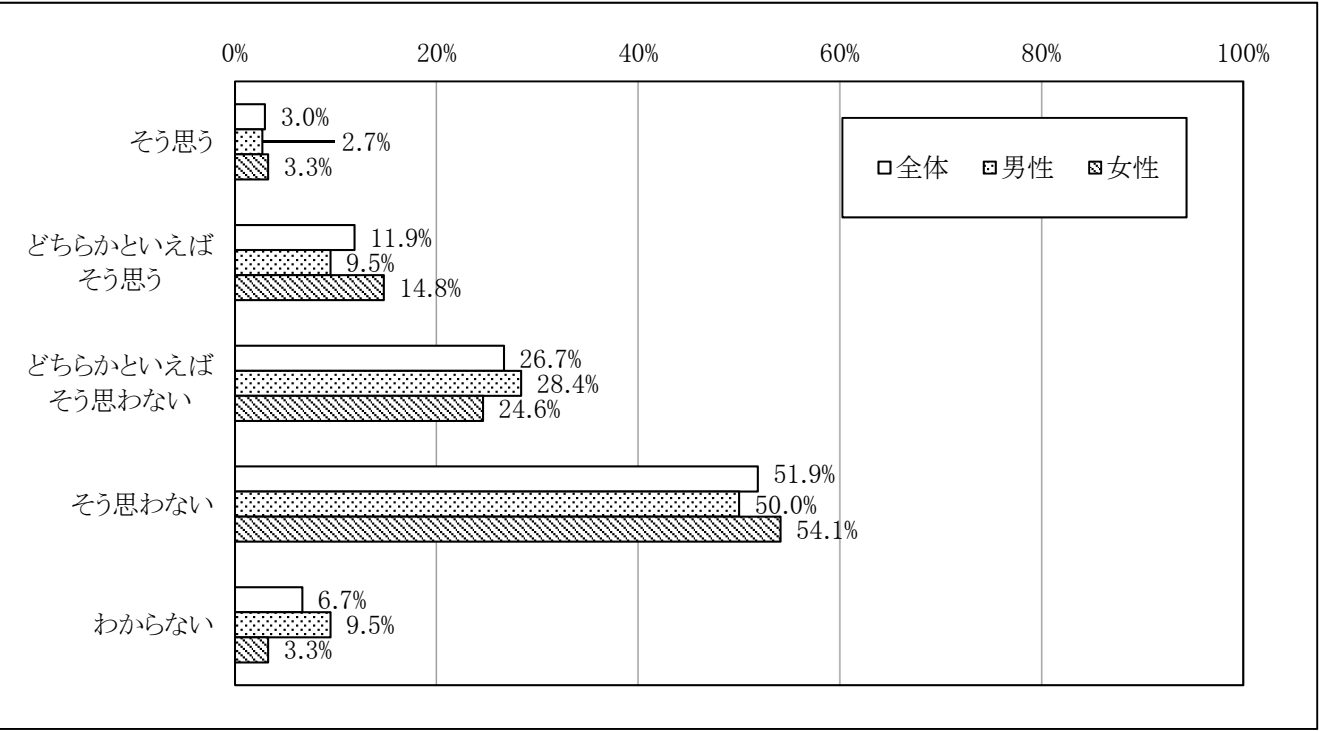
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	107	79.3	94.1	53	71.6	89.2	54	88.5	100.0
どちらかといえば そう思う	20	14.8		13	17.6		7	11.5	
どちらかといえば そう思わない	3	2.2	2.9	3	4.1	5.5	0	0.0	0.0
そう思わない	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
わからない	4	3.0		4	5.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(2) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

約 8 割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

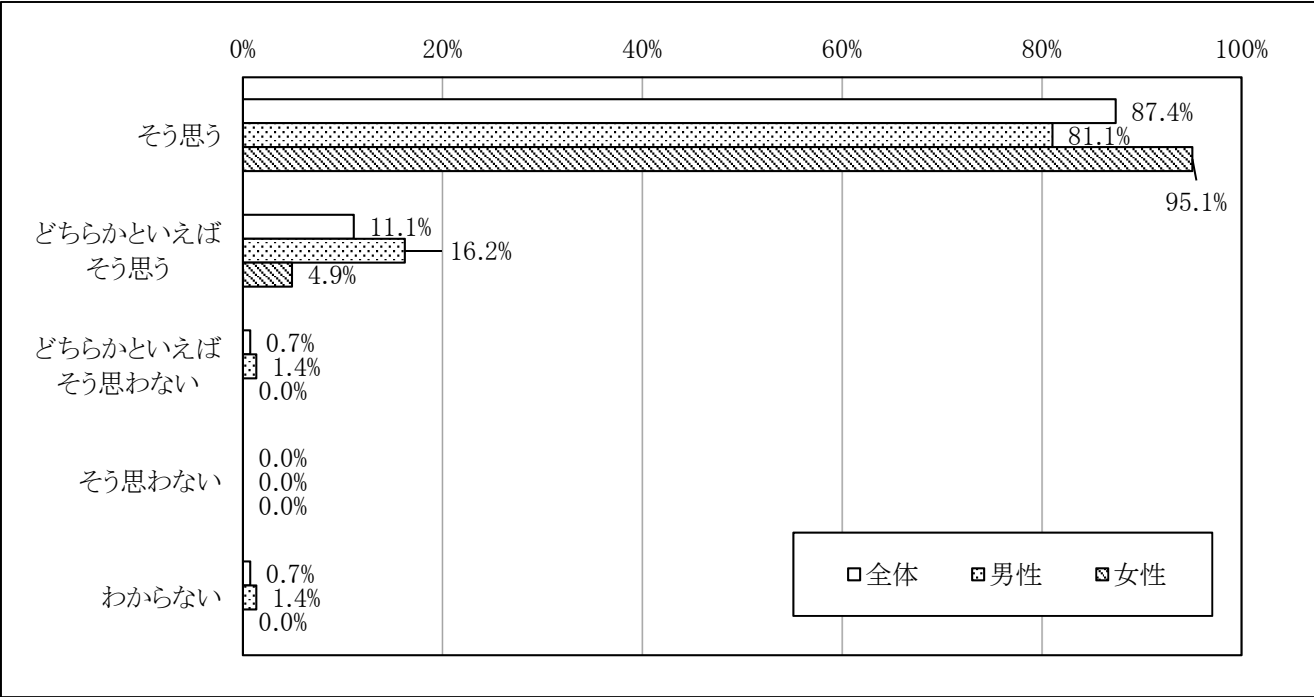
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	4	3.0	14.9	2	2.7	12.2	2	3.3	18.1
どちらかといえば そう思う	16	11.9		7	9.5		9	14.8	
どちらかといえば そう思わない	36	26.7	78.6	21	28.4	78.4	15	24.6	78.7
そう思わない	70	51.9		37	50.0		33	54.1	
わからない	9	6.7		7	9.5		2	3.3	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(3)家事や育児、介護などの家庭生活は、男性も女性も協力し合っていくほうがよい

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

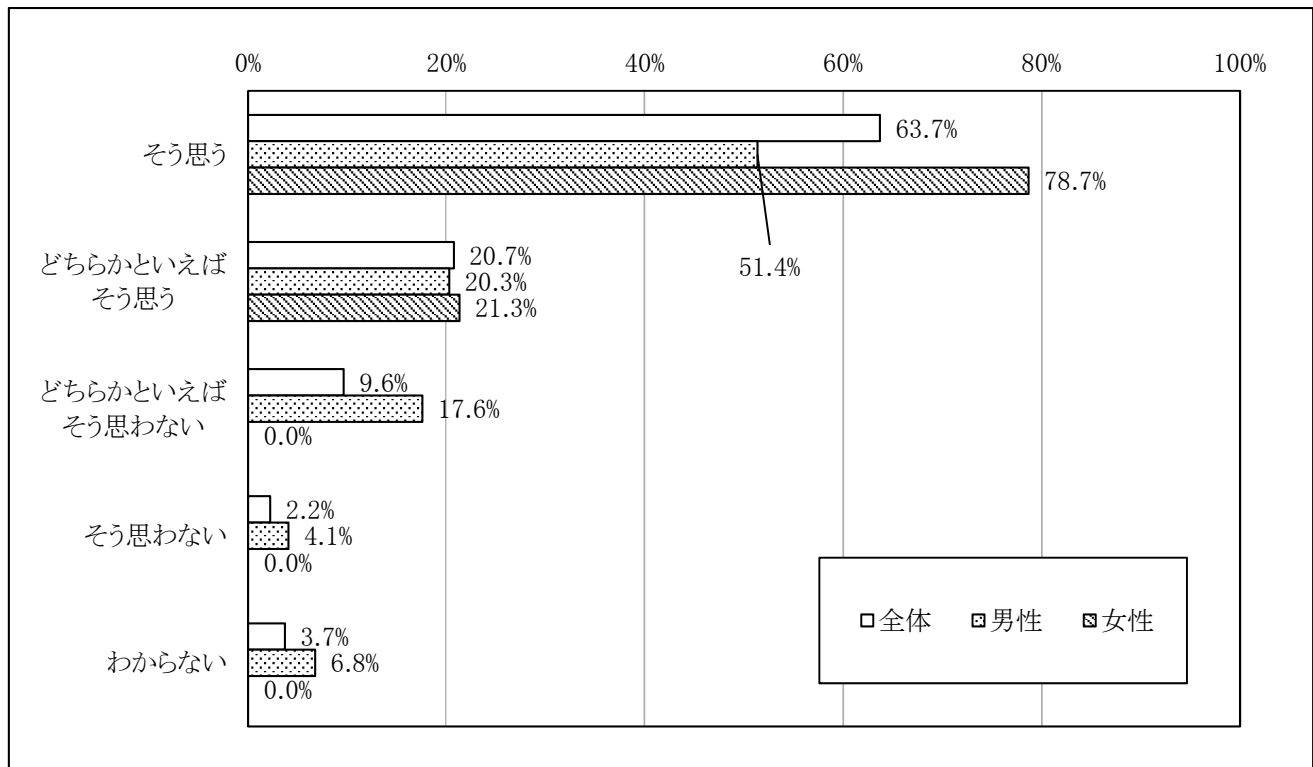
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	118	87.4	98.5	60	81.1	97.3	58	95.1	100.0
どちらかといえば そう思う	15	11.1		12	16.2		3	4.9	
どちらかといえば そう思わない	1	0.7	0.7	1	1.4	1.4	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
わからない	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(4)結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

8割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性は100%で、男性との差は28.3ポイントとなっています。

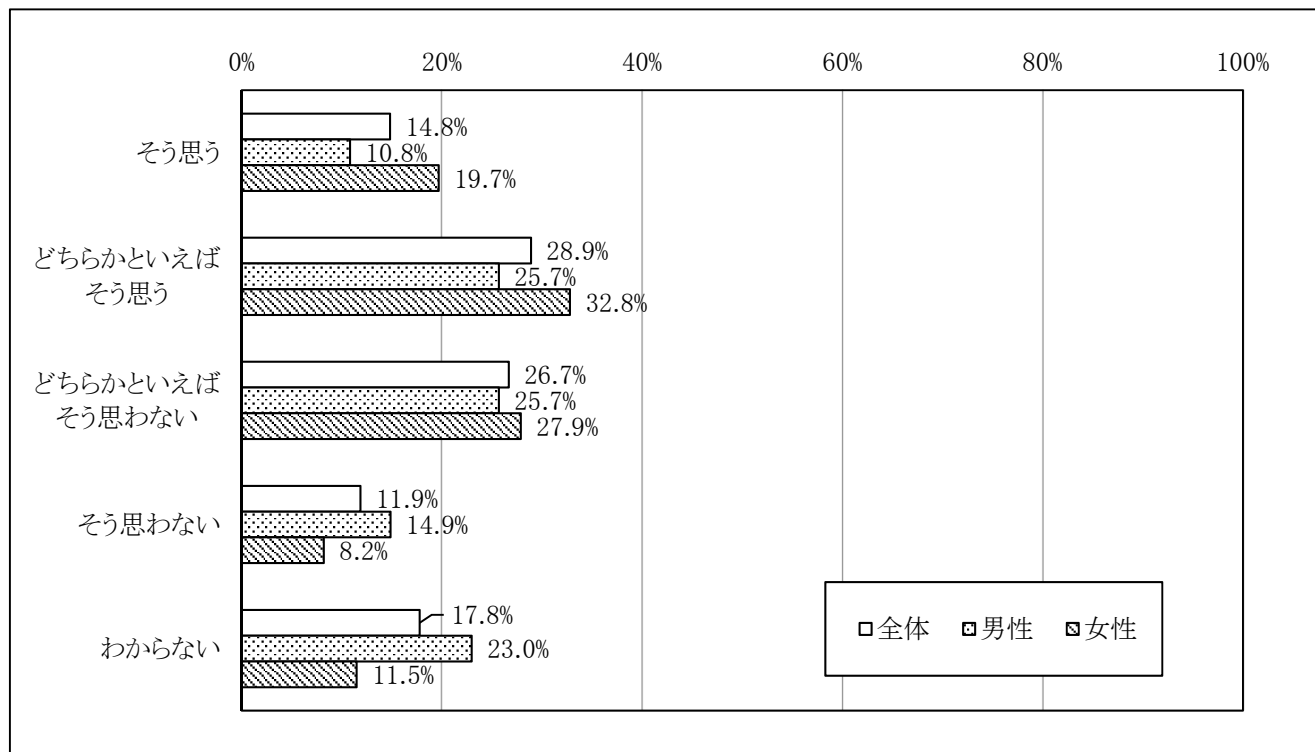
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	86	63.7	84.4	38	51.4	71.7	48	78.7	100.0
どちらかといえば そう思う	28	20.7		15	20.3		13	21.3	
どちらかといえば そう思わない	13	9.6	11.8	13	17.6	21.7	0	0.0	0.0
そう思わない	3	2.2		3	4.1		0	0.0	
わからない	5	3.7		5	6.8		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(5)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

4割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は16.0ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	20	14.8	43.7	8	10.8	36.5	12	19.7	52.5
どちらかといえば そう思う	39	28.9		19	25.7		20	32.8	
どちらかといえば そう思わない	36	26.7	38.6	19	25.7	40.6	17	27.9	36.1
そう思わない	16	11.9		11	14.9		5	8.2	
わからない	24	17.8		17	23.0		7	11.5	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



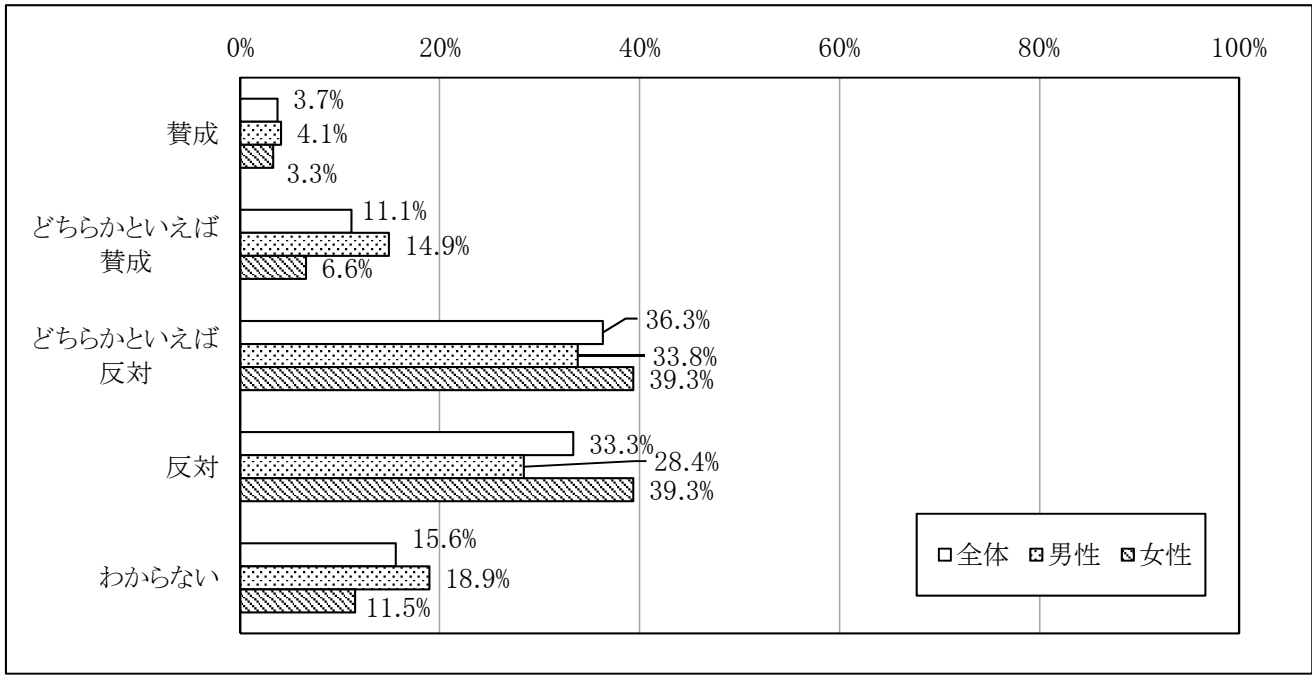
○（１）～（５）について、昨年度と同じような割合の回答となりました。

・性別により役割や責任が固定される考え方について

問5. 本人の意思に関わらず、性別により役割や責任が固定される考え方について、あなたはどのように思いますか。

約7割の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、男性の割合が低く、女性との差は16.4ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	5	3.7	14.8	3	4.1	19.0	2	3.3	9.9
どちらかといえば賛成	15	11.1		11	14.9		4	6.6	
どちらかといえば反対	49	36.3	69.6	25	33.8	62.2	24	39.3	78.6
反対	45	33.3		21	28.4		24	39.3	
わからない	21	15.6		14	18.9		7	11.5	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



○昨年度も、「どちらかといえば反対」または「反対」と回答した女性の割合が84.8%と高く、男性との差は20.9ポイントでした。

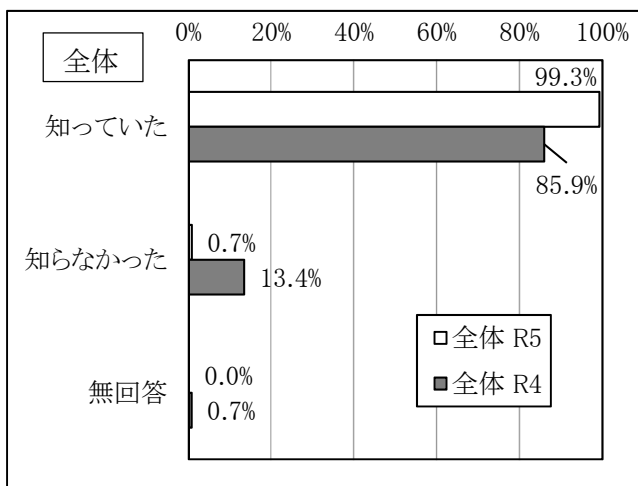
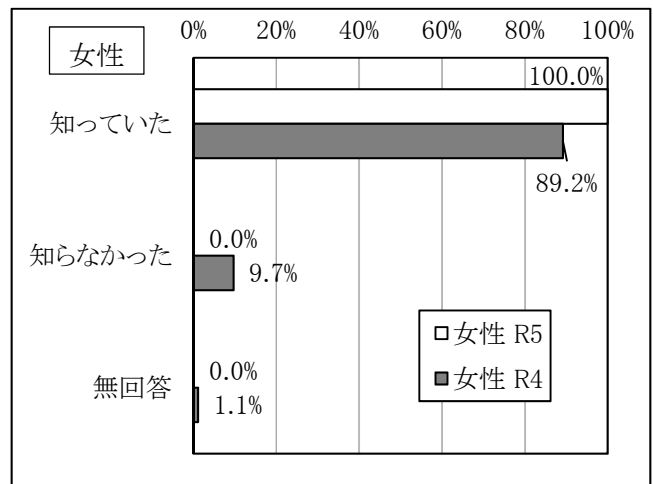
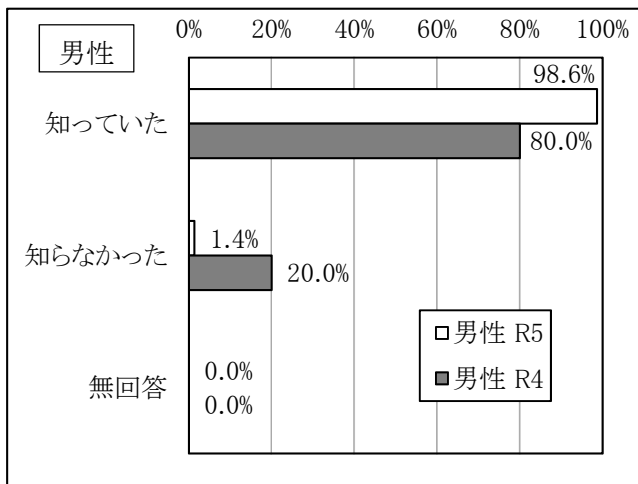
・デートDVについて

問6. あなたは、デートDVという言葉を知っていますか。

9割以上の生徒が「知っていた」と回答し、その割合は昨年度に比べて増加しました。

	全 体				男 性				女 性			
	R5		R4		R5		R4		R5		R4	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
知っていた	134	99.3	128	85.9	73	98.6	44	80.0	61	100	83	89.2
知らなかった	1	0.7	20	13.4	1	1.4	11	20.0	0	0.0	9	9.7
無回答	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
計	135	100.0	149	100.0	74	100.0	55	100.0	61	100.0	93	100.0

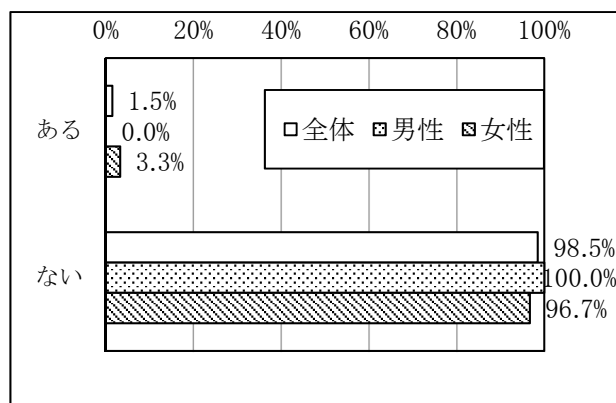
※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施。



問7. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

2人が「ある」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	2	1.5	0	0.0	2	3.3
ない	133	98.5	74	100	59	96.7
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0

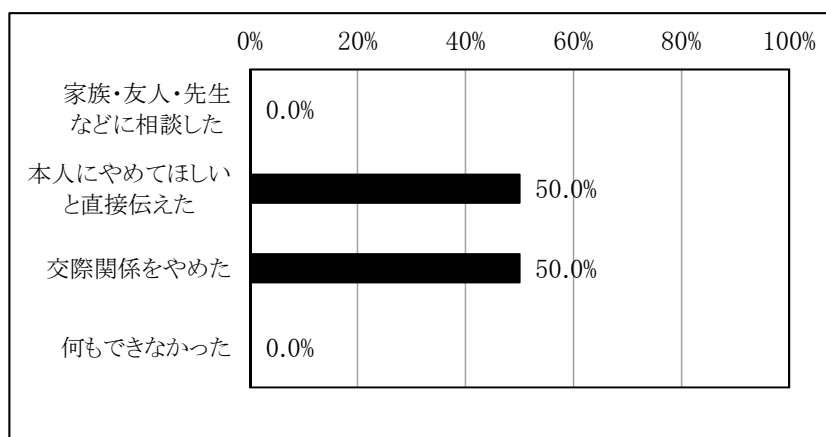


問7-1. 「ある」と回答した人に質問します。デートDVと思われる行為を受けたときに、どのような対応をしましたか。(複数回答)

「本人にやめてほしいと直接伝えた」「交際関係をやめた」という回答がありました。

	人数(人)	割合(%)
家族・友人・先生などに相談した	0	0.0
本人にやめてほしいと直接伝えた	1	50.0
交際関係をやめた	1	50.0
何もできなかった	0	0.0

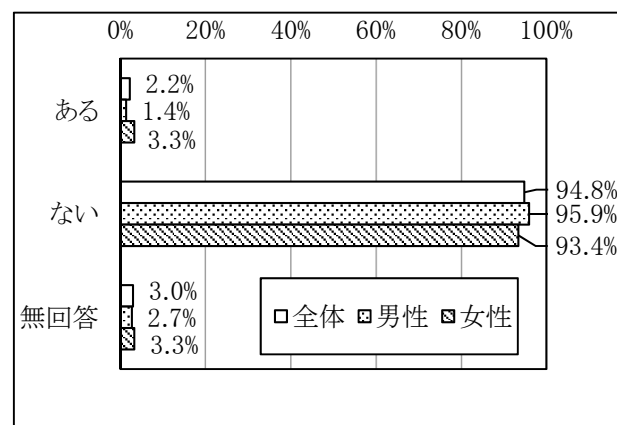
※問7で「ある」と回答した人数に対する割合



問8. あなたの友人やクラスメートが、デートDVと思われる行為を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

3人の生徒が「ある」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	3	2.2	1	1.4	2	3.3
ない	128	94.8	71	95.9	57	93.4
無回答	4	3.0	2	2.7	2	3.3
計	135	100.0	74	100.0	61	100.0



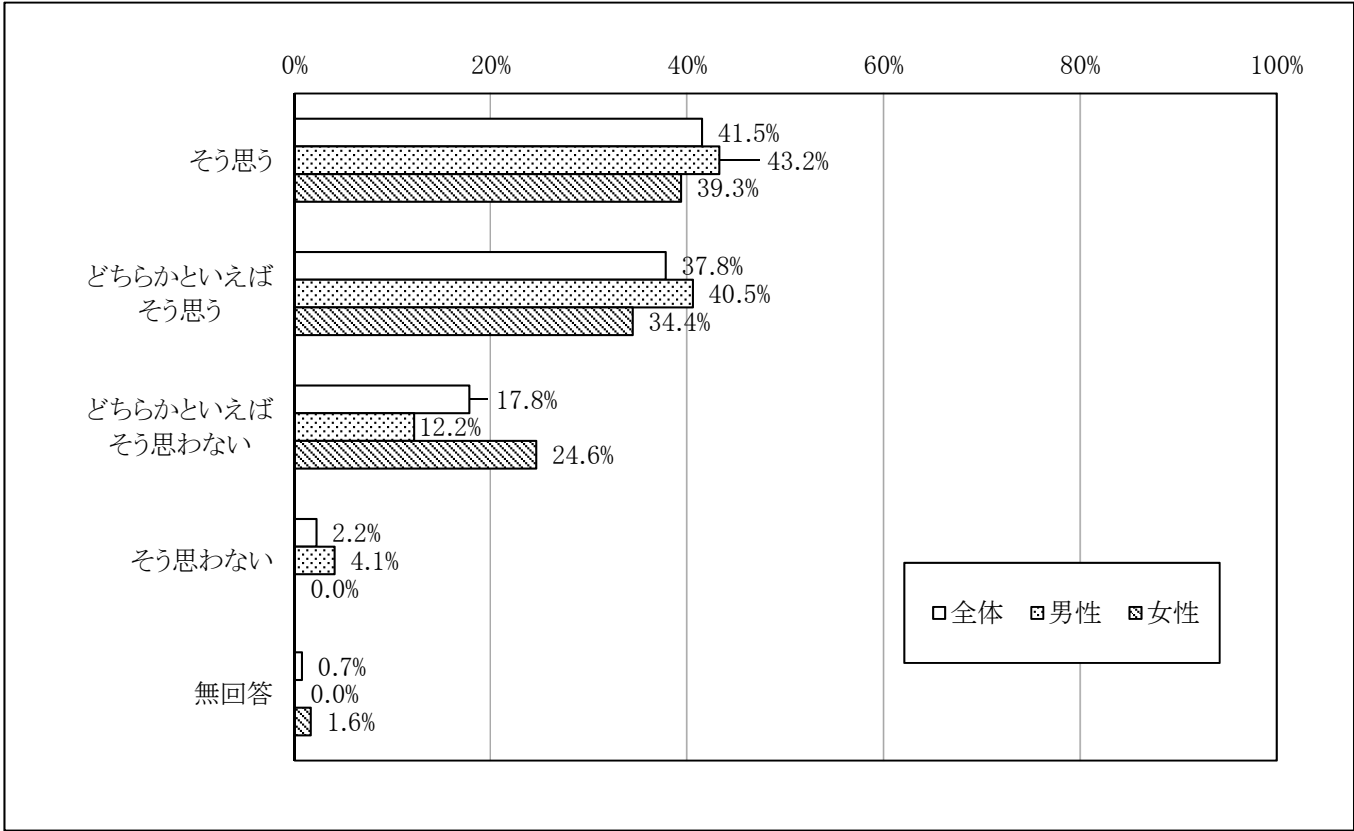
・DV行為に対する意識について

問9. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高く、女性との差は10.0ポイントとなっています。

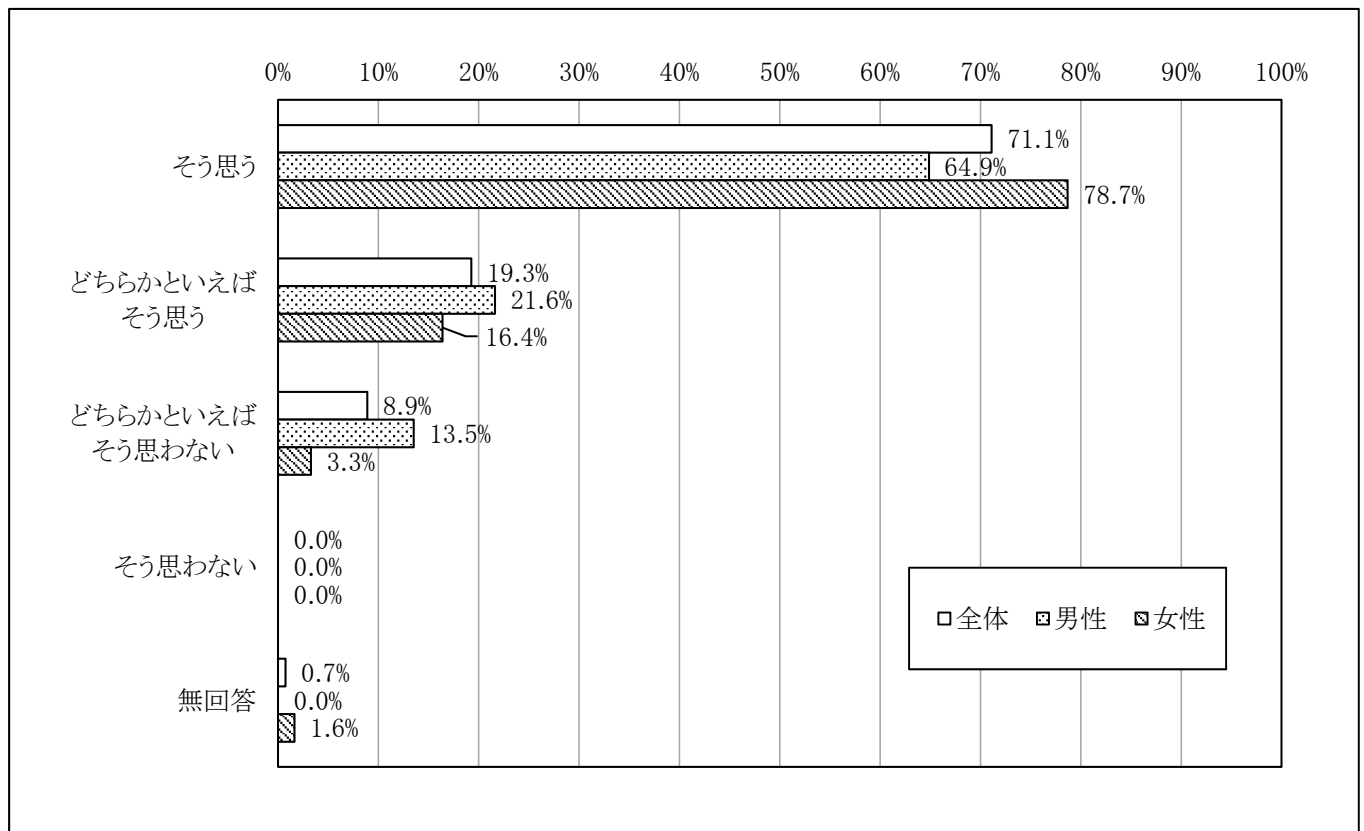
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	56	41.5	79.3	32	43.2	83.7	24	39.3	73.7
どちらかといえばそう思う	51	37.8		30	40.5		21	34.4	
どちらかといえばそう思わない	24	17.8	20.0	9	12.2	16.3	15	24.6	24.6
そう思わない	3	2.2		3	4.1		0	0.0	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(2) 大声でどなる

9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は8.6ポイントとなっています。

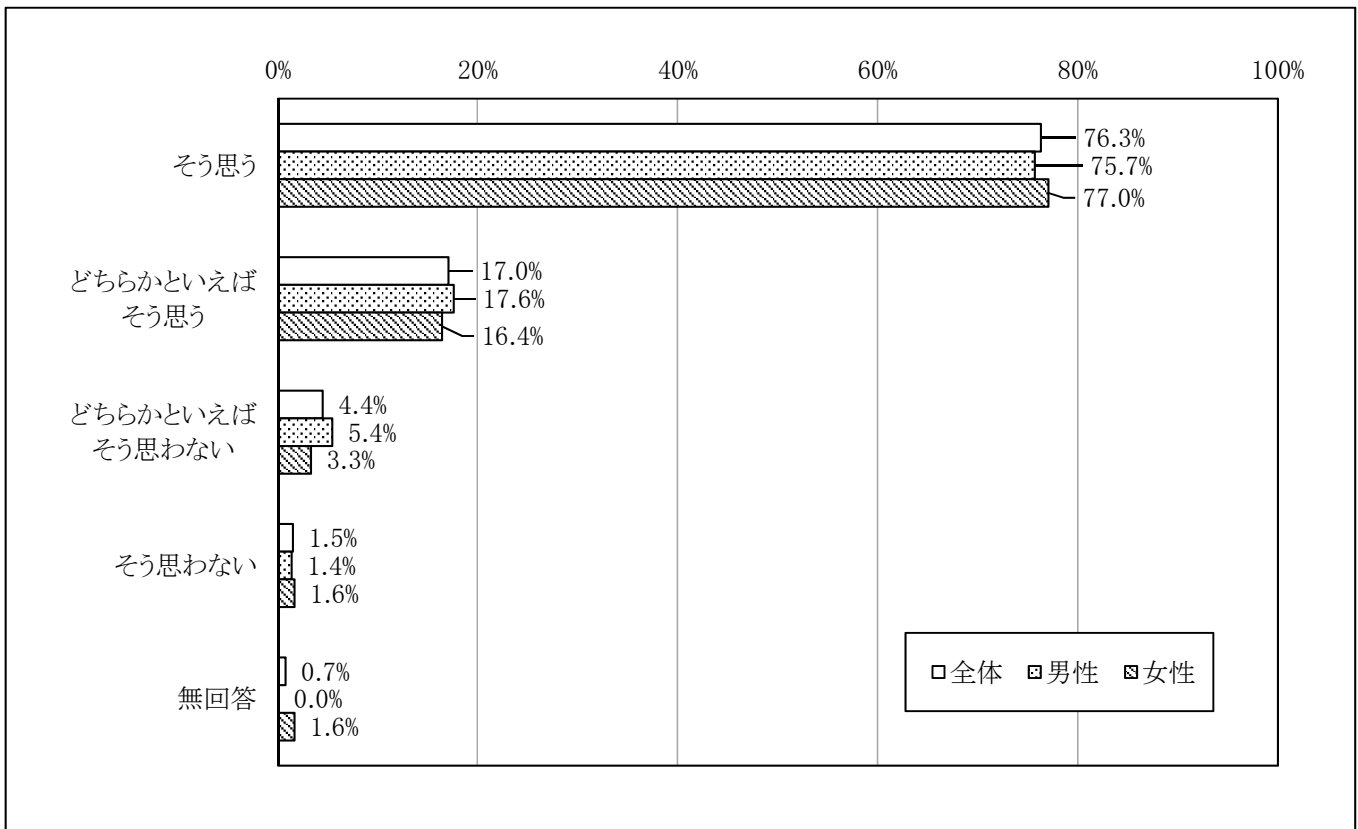
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	96	71.1	90.4	48	64.9	86.5	48	78.7	95.1
どちらかといえばそう思う	26	19.3		16	21.6		10	16.4	
どちらかといえばそう思わない	12	8.9	8.9	10	13.5	13.5	2	3.3	3.3
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の連絡先を消せと言う

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

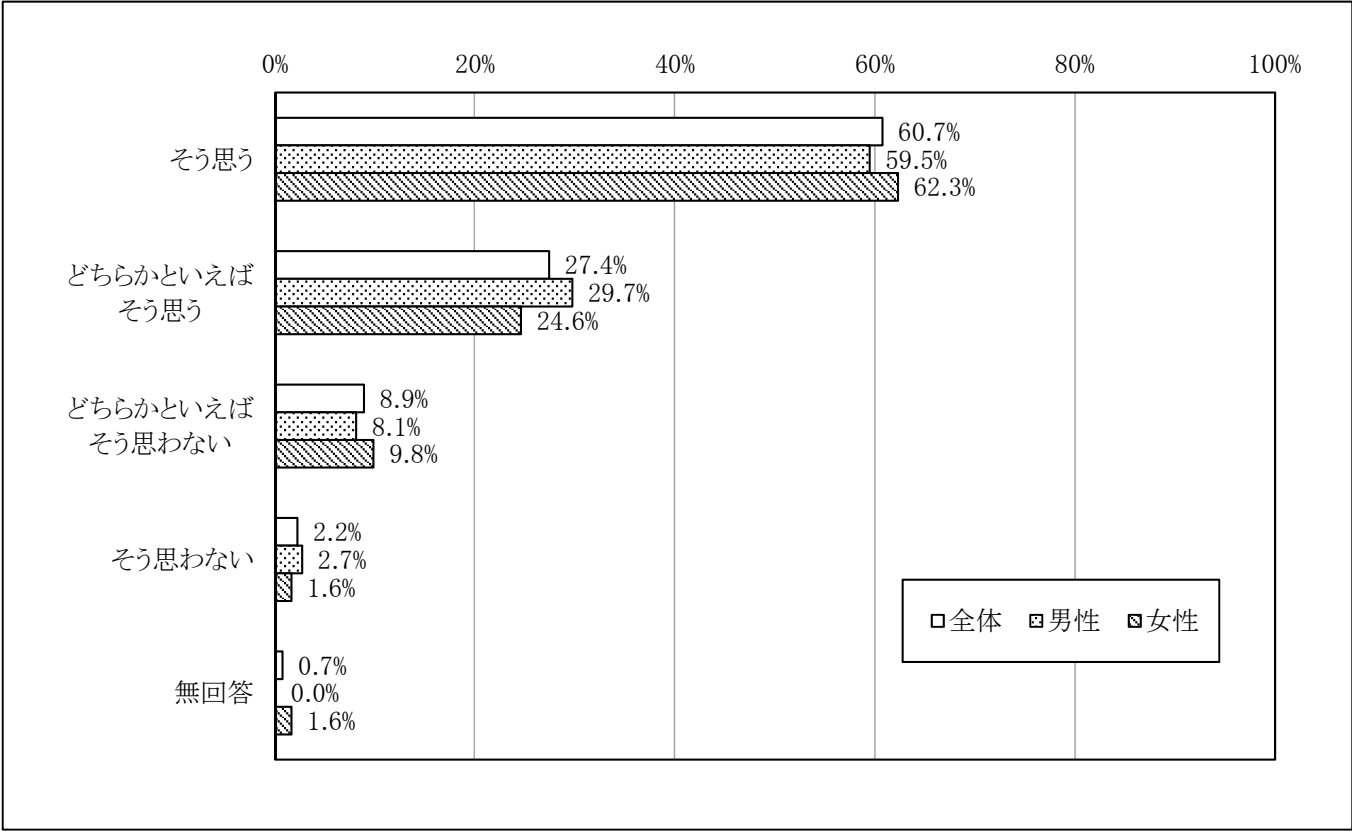
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	103	76.3	93.3	56	75.7	93.3	47	77.0	93.4
どちらかといえばそう思う	23	17.0		13	17.6		10	16.4	
どちらかといえばそう思わない	6	4.4	5.9	4	5.4	6.8	2	3.3	4.9
そう思わない	2	1.5		1	1.4		1	1.6	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(4)しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

約 9 割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

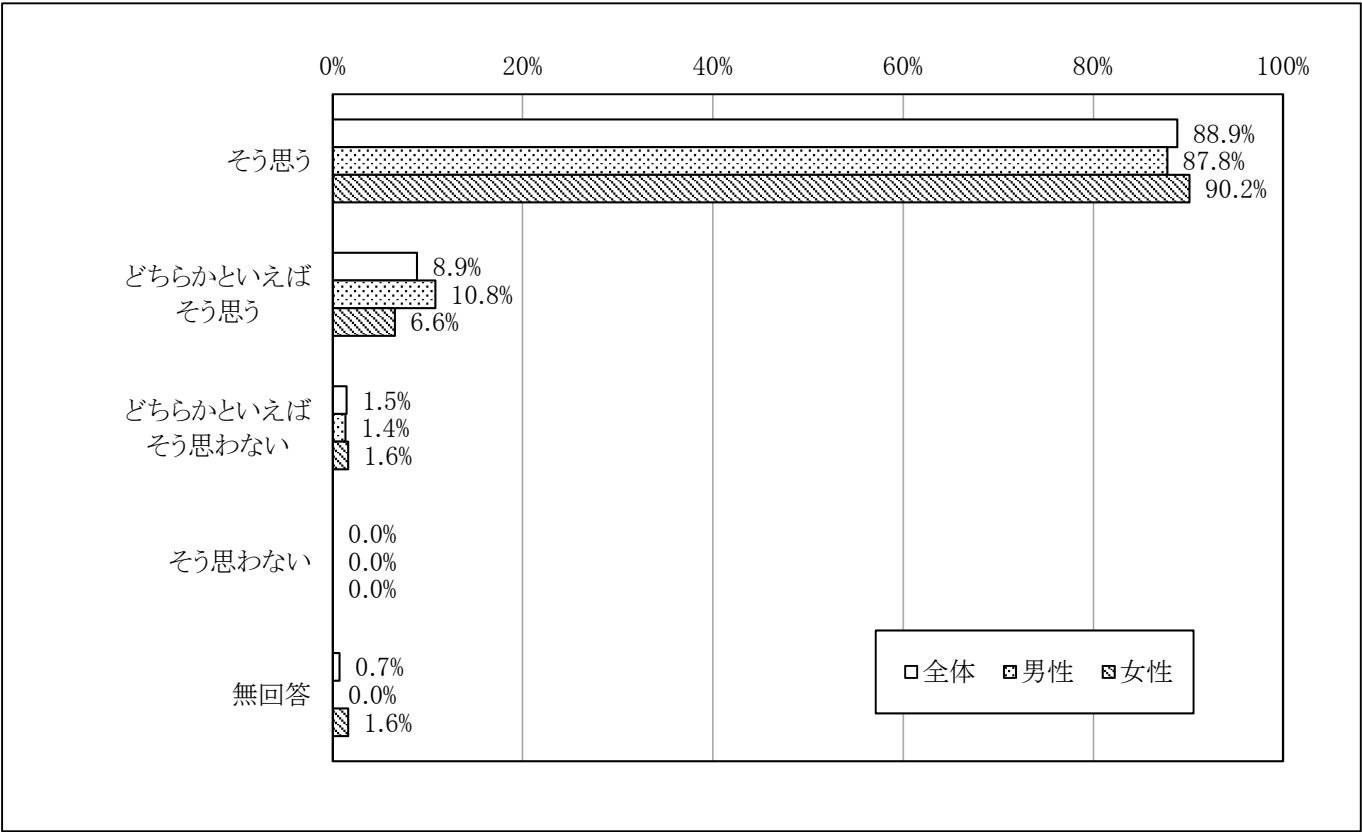
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	82	60.7	88.1	44	59.5	89.2	38	62.3	86.9
どちらかといえばそう思う	37	27.4		22	29.7		15	24.6	
どちらかといえばそう思わない	12	8.9	11.1	6	8.1	10.8	6	9.8	11.4
そう思わない	3	2.2		2	2.7		1	1.6	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(5)お金を取り上げる

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

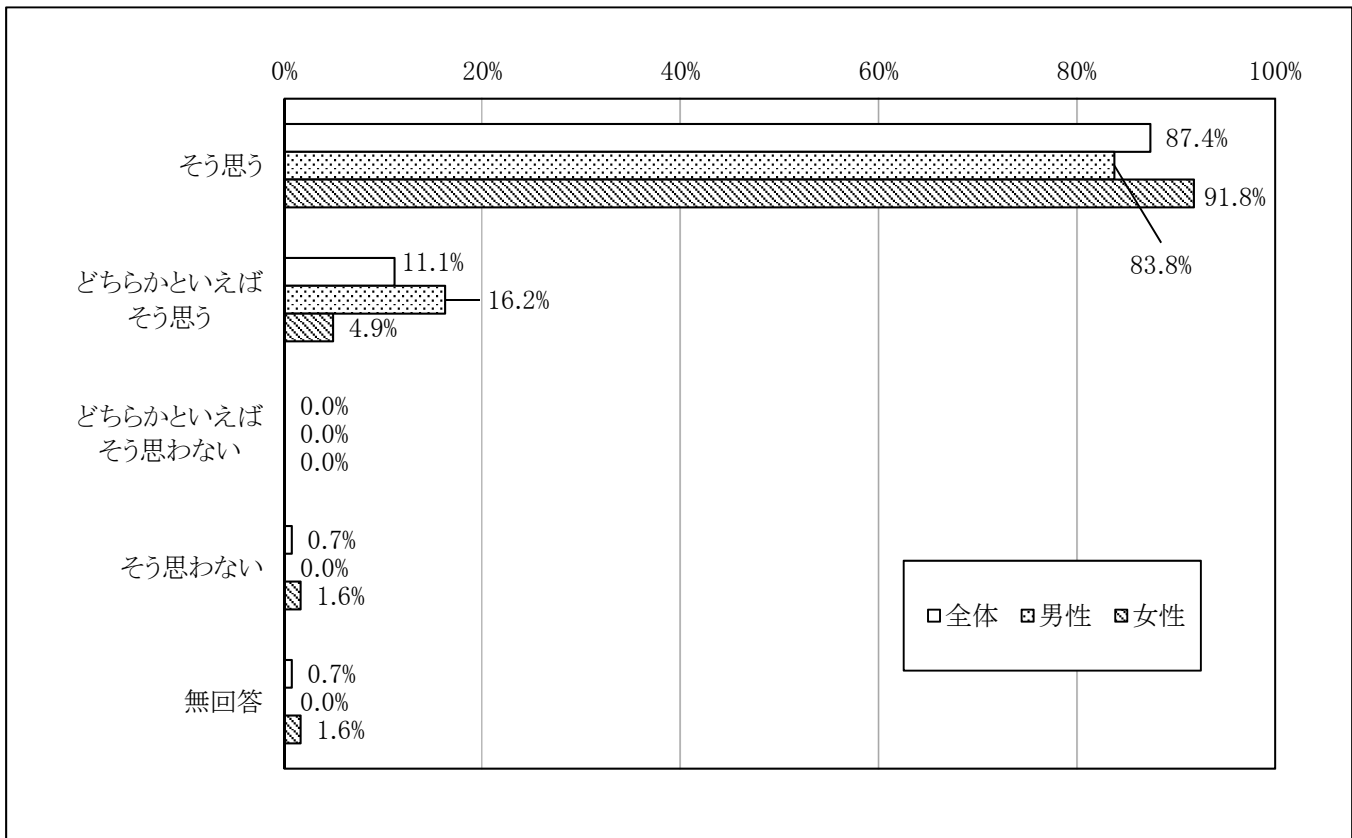
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	120	88.9	97.8	65	87.8	98.6	55	90.2	96.8
どちらかといえばそう思う	12	8.9		8	10.8		4	6.6	
どちらかといえばそう思わない	2	1.5	1.5	1	1.4	1.4	1	1.6	1.6
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性は全員が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

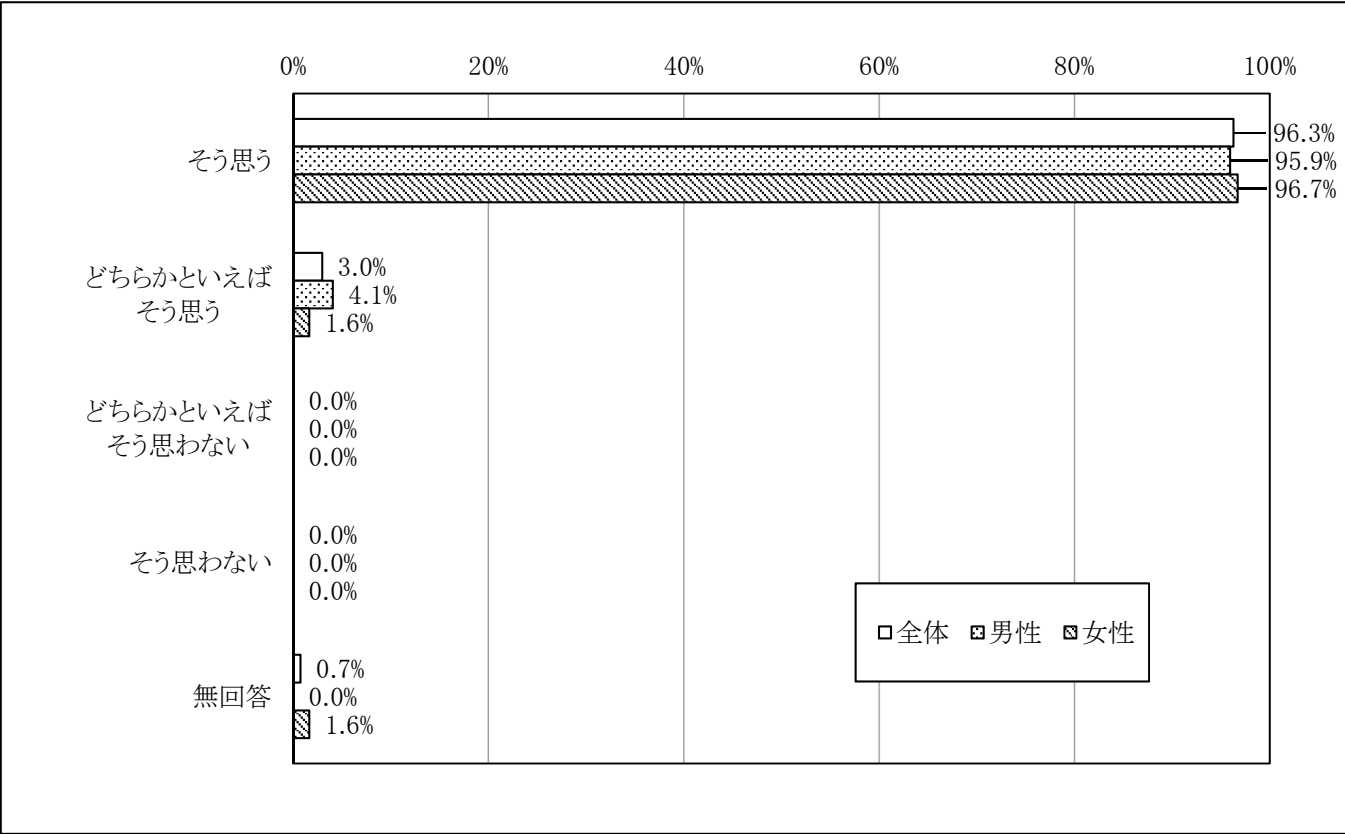
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	118	87.4	98.5	62	83.8	100.0	56	91.8	96.7
どちらかといえばそう思う	15	11.1		12	16.2		3	4.9	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	0.7	0	0.0	0.0	0	0.0	1.6
そう思わない	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(7)ものを投げつける

回答したすべての生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒はいませんでした。

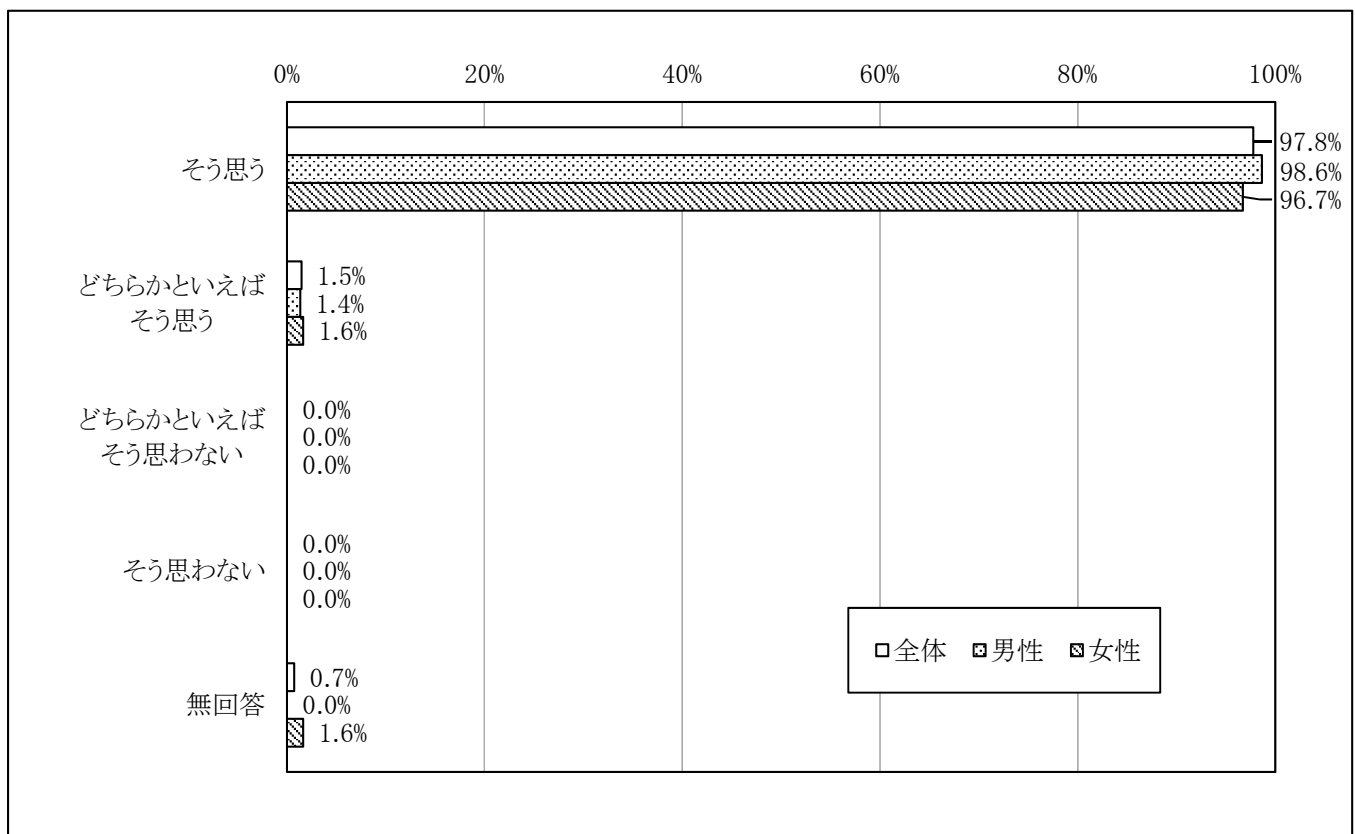
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	130	96.3	99.3	71	95.9	100.0	59	96.7	98.3
どちらかといえばそう思う	4	3.0		3	4.1		1	1.6	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



(8) 身体を傷つける可能性のある物でたたく

回答したすべての生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒はいませんでした。

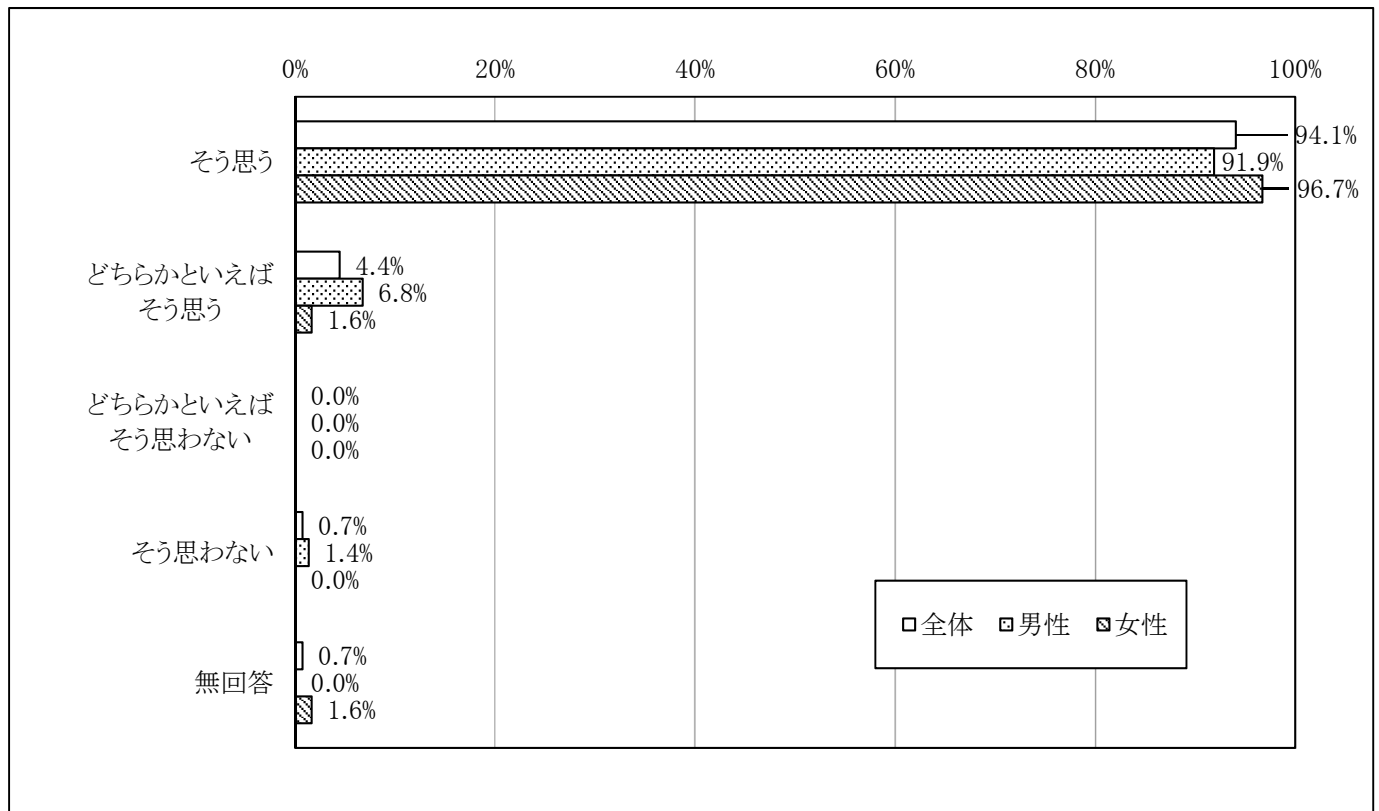
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	132	97. 8	99. 3	73	98. 6	100. 0	59	96. 7	98. 3
どちらかといえばそう思う	2	1. 5		1	1. 4		1	1. 6	
どちらかといえばそう思わない	0	0. 0	0. 0	0	0. 0	0. 0	0	0. 0	0. 0
そう思わない	0	0. 0		0	0. 0		0	0. 0	
無回答	1	0. 7		0	0. 0		1	1. 6	
計	135	100. 0		74	100. 0		61	100. 0	



(9)相手が嫌がっているのに、無理やり体を触ったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	127	94.1	98.5	68	91.9	98.7	59	96.7	98.3
どちらかといえばそう思う	6	4.4		5	6.8		1	1.6	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	0.7	0	0.0	1.4	0	0.0	0.0
そう思わない	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
無回答	1	0.7		0	0.0		1	1.6	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	



○ (1) ～ (9) について、昨年度と同じような割合の回答となりました。

※DV行為の種類

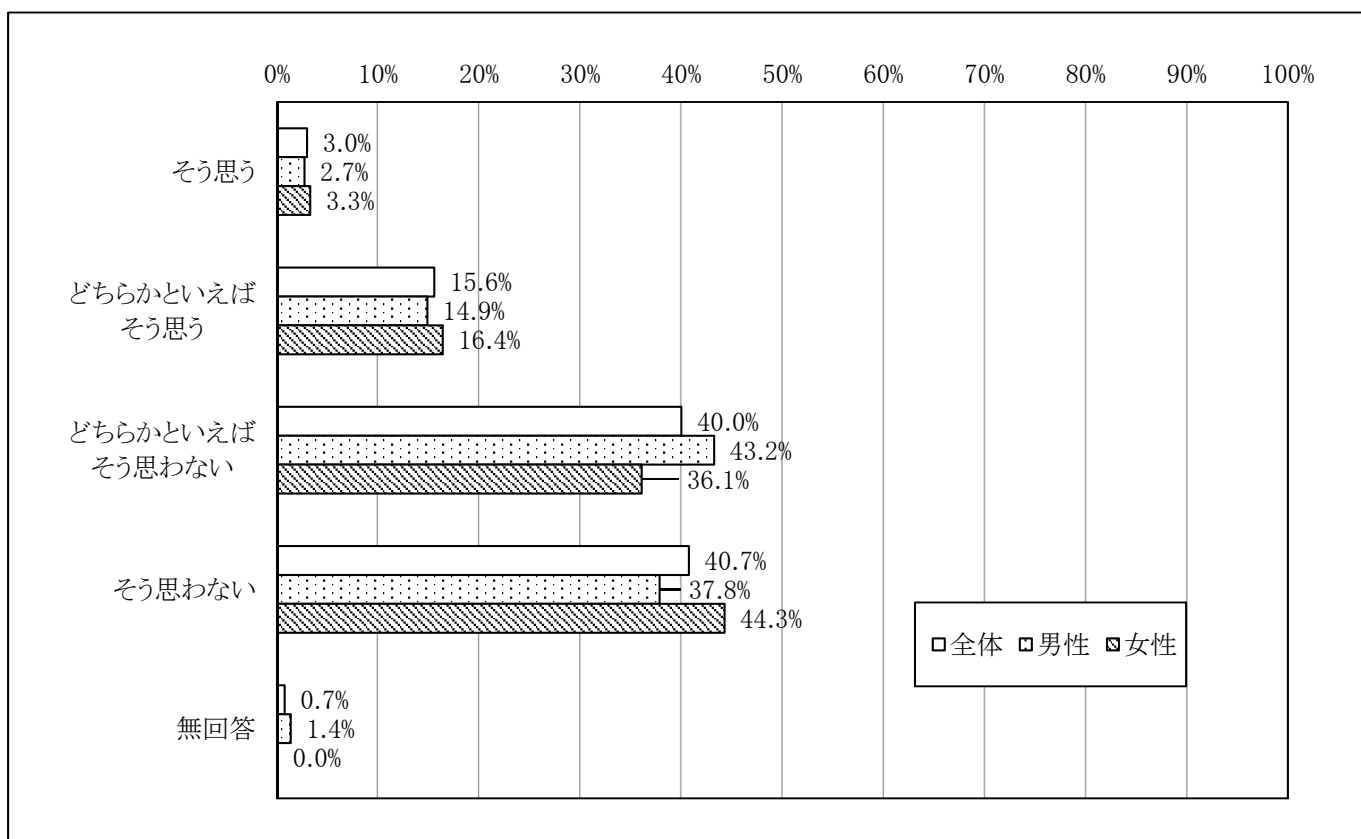
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的感情的暴力：汚い言葉を使う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻繁に電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問10. 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	4	3.0	18.6	2	2.7	17.6	2	3.3	19.7
どちらかといえばそう思う	21	15.6		11	14.9		10	16.4	
どちらかといえばそう思わない	54	40.0	80.7	32	43.2	81.0	22	36.1	80.4
そう思わない	55	40.7		28	37.8		27	44.3	
無回答	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	

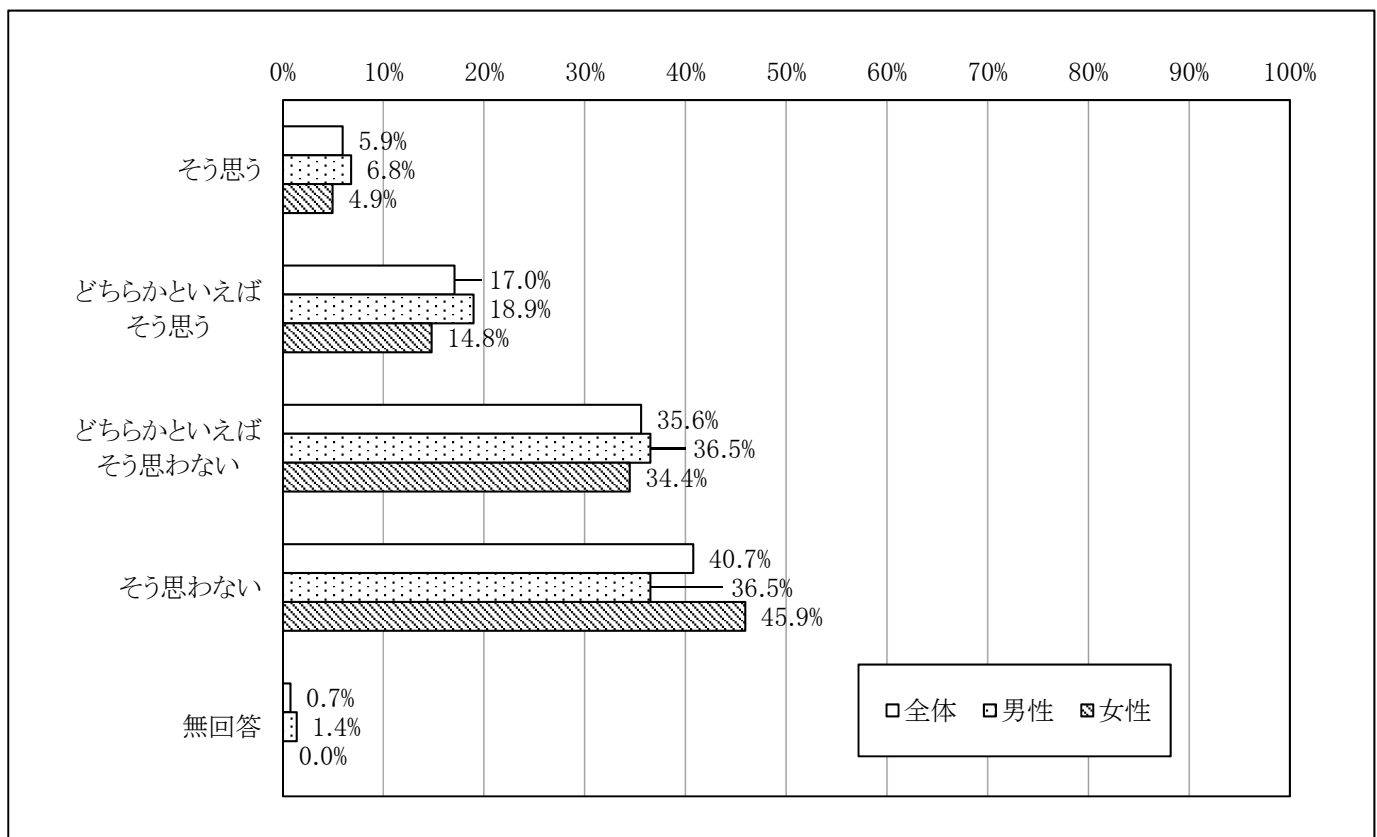


○昨年度も、8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した割合が、女性は90.3%、男性は67.3%と差が23.0ポイントでしたので、DV行為に対する男性と女性の考え方が近づいています。

(2)家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきだ

7割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	8	5.9	22.9	5	6.8	25.7	3	4.9	19.7
どちらかといえばそう思う	23	17.0		14	18.9		9	14.8	
どちらかといえばそう思わない	48	35.6	76.3	27	36.5	73.0	21	34.4	80.3
そう思わない	55	40.7		27	36.5		28	45.9	
無回答	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	

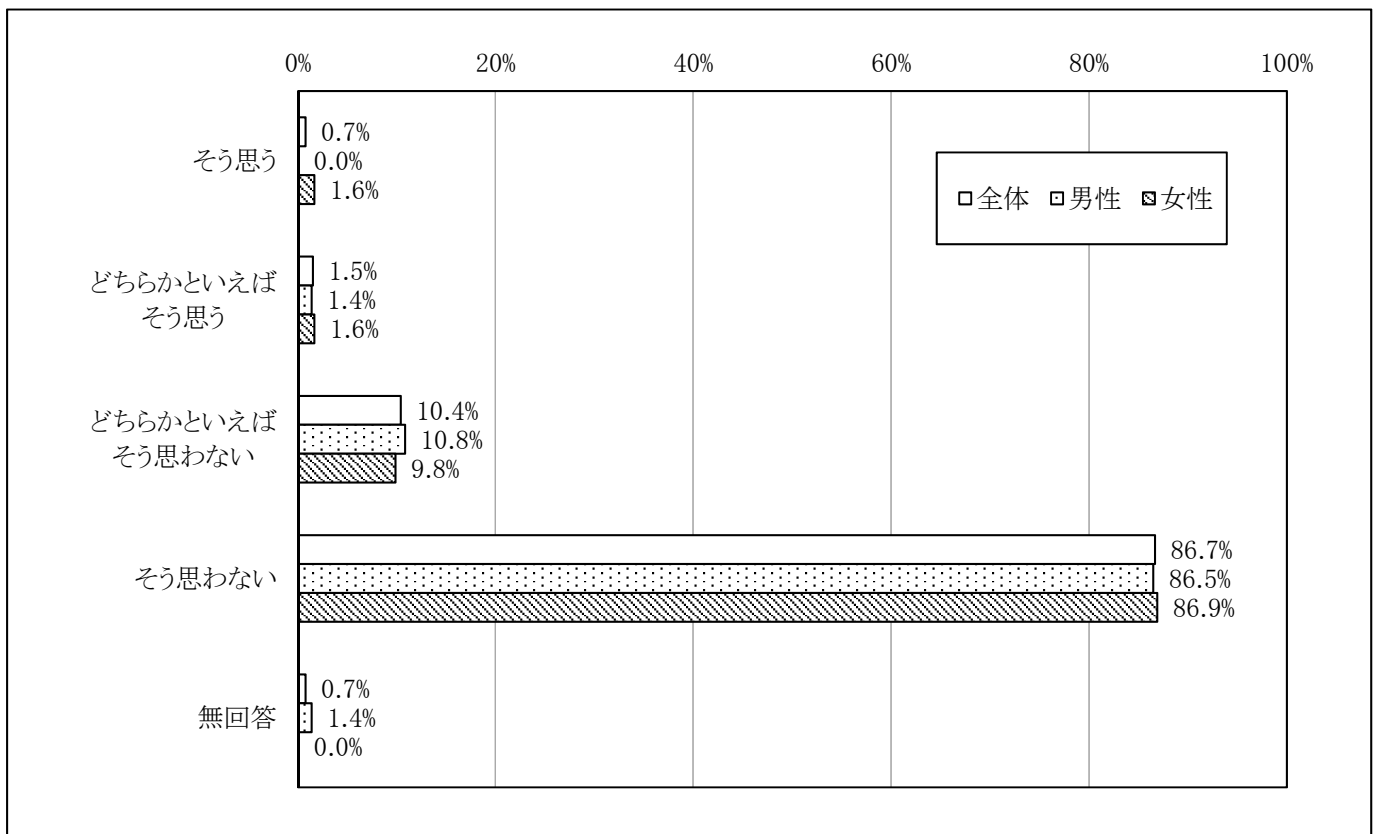


○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が昨年度より高く、特に女性は8.9ポイント高くなっているのが心配されます。今後も注意深く観察していくことが重要です。

(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	1	0.7	2.2	0	0.0	1.4	1	1.6	3.2
どちらかといえばそう思う	2	1.5		1	1.4		1	1.6	
どちらかといえばそう思わない	14	10.4	97.1	8	10.8	97.3	6	9.8	96.7
そう思わない	117	86.7		64	86.5		53	86.9	
無回答	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	

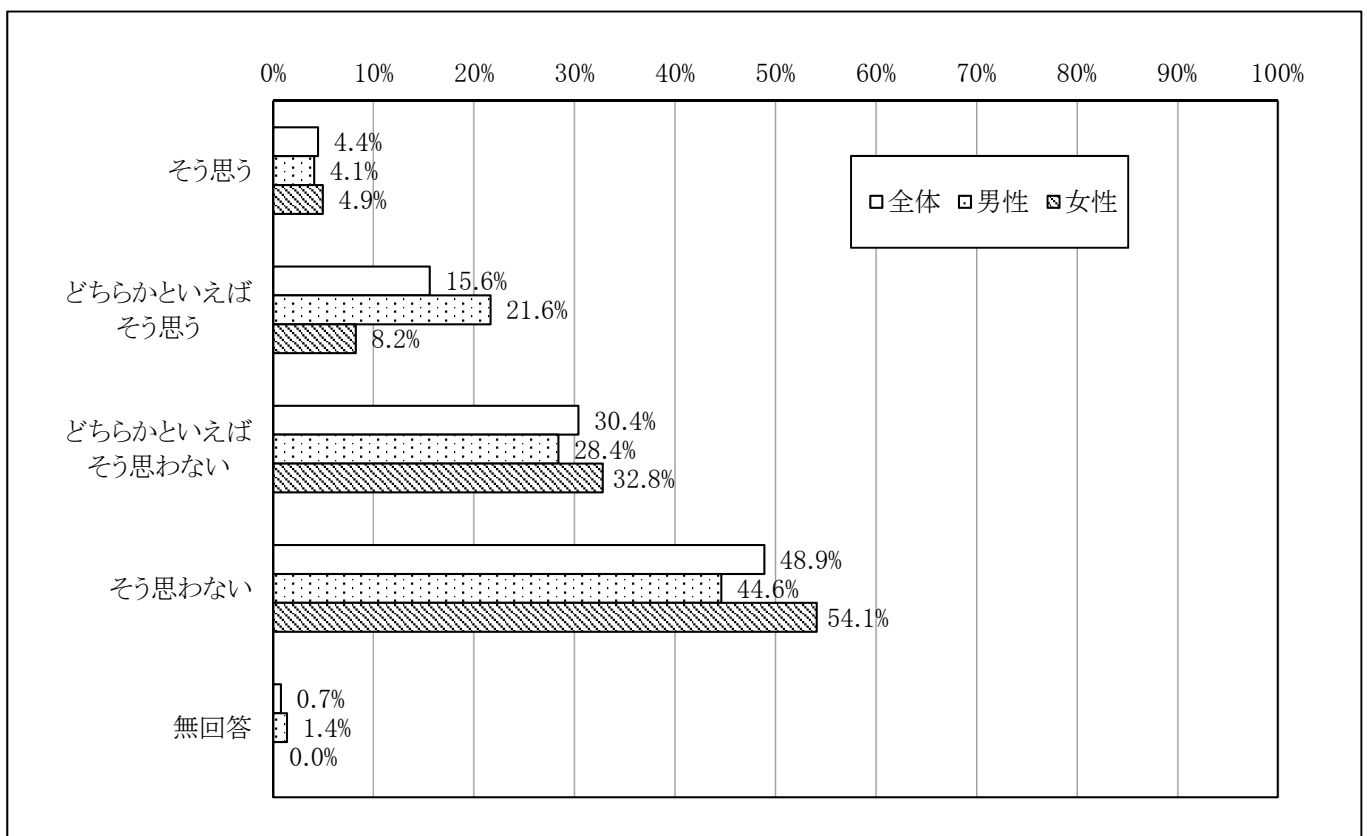


○昨年度とやや同じ割合の回答となりましたが、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答について、割合が男性では低くなり、女性では高くなっています。

(4)DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

約8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は13.9ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	6	4.4	20.0	3	4.1	25.7	3	4.9	13.1
どちらかといえばそう思う	21	15.6		16	21.6		5	8.2	
どちらかといえばそう思わない	41	30.4	79.3	21	28.4	73.0	20	32.8	86.9
そう思わない	66	48.9		33	44.6		33	54.1	
無回答	1	0.7		1	1.4		0	0.0	
計	135	100.0		74	100.0		61	100.0	

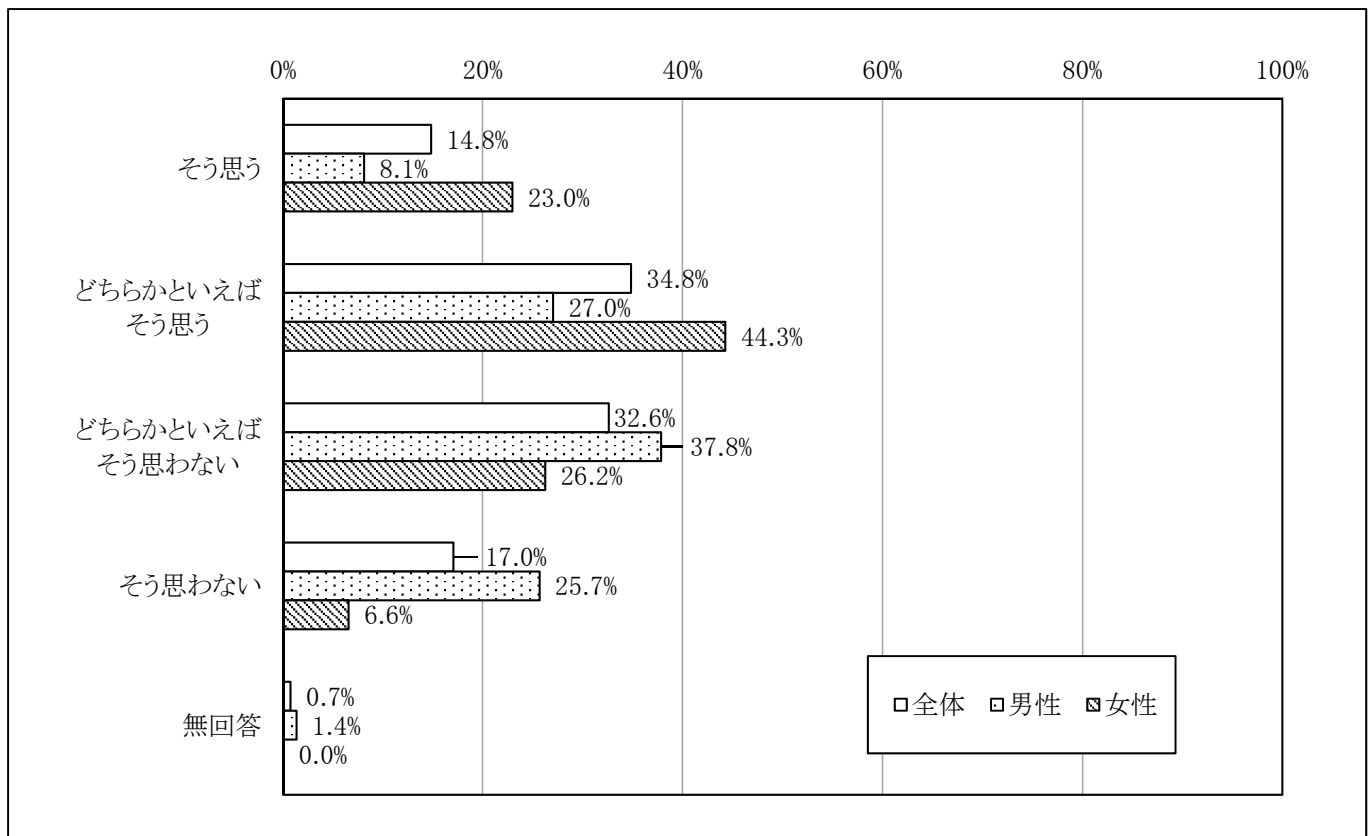


○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答について、昨年度より女性の割合が4.5ポイント高くなっています。

(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

約5割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は32.2ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	20	14. 8	49. 6	6	8. 1	35. 1	14	23. 0	67. 3
どちらかといえばそう思う	47	34. 8		20	27. 0		27	44. 3	
どちらかといえばそう思わない	44	32. 6	49. 6	28	37. 8	63. 5	16	26. 2	32. 8
そう思わない	23	17. 0		19	25. 7		4	6. 6	
無回答	1	0. 7		1	1. 4		0	0. 0	
計	135	100. 0		74	100. 0		61	100. 0	



○昨年度「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は、67.1%で、昨年度より17.5ポイント減少し、特に男性は32.2ポイント減少しました。

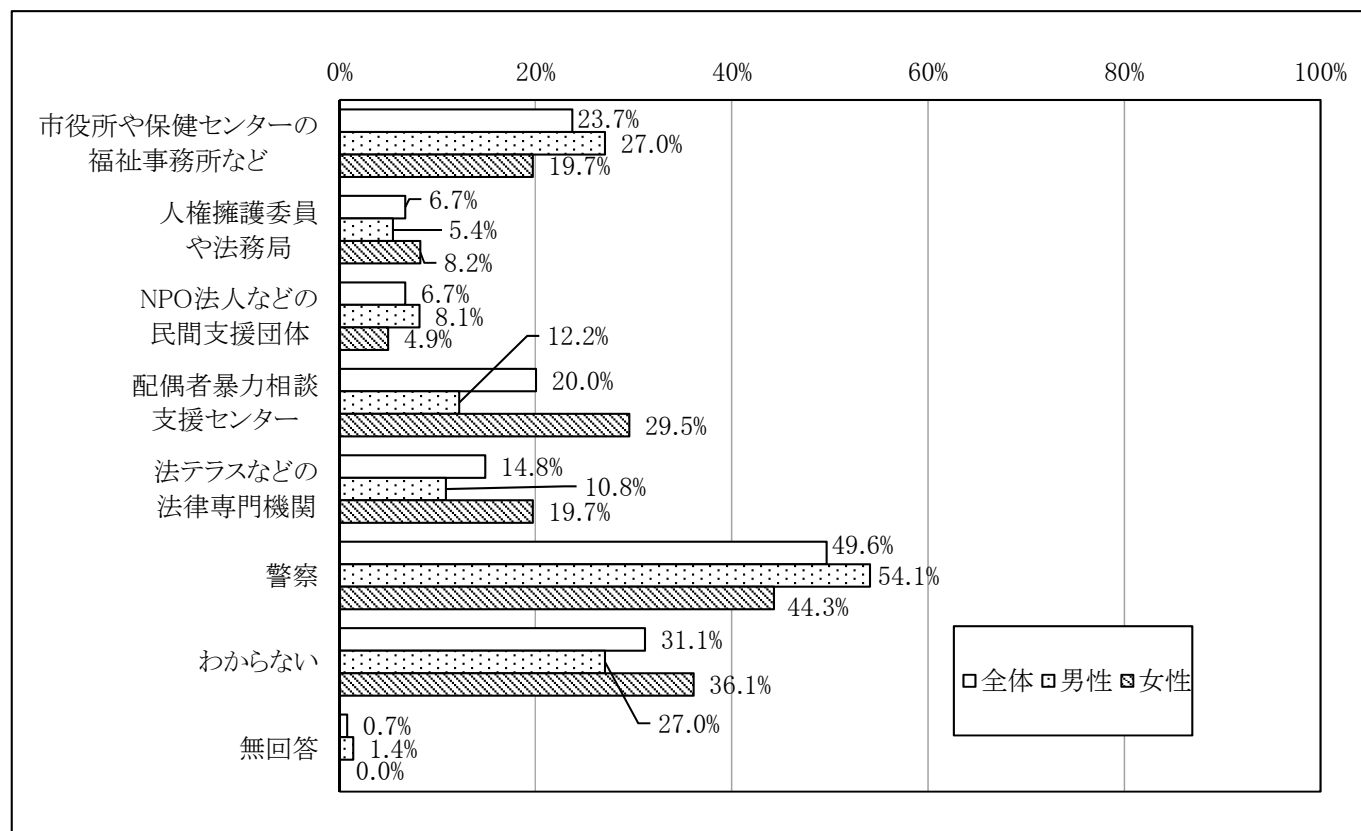
・DV行為に関する相談機関について

問11. あなたは、デートDV等の被害を受けたとき、次の相談機関のうち、どこに相談しますか。
(複数回答)

「警察」の割合が最も高く、約5割の生徒が回答しました。次いで相談先が「わからない」の割合が高くなっています。

	全体(135人)		男性(74人)		女性(61人)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
市役所や保健センターの福祉事務所など	32	23.7	20	27.0	12	19.7
人権擁護委員や法務局	9	6.7	4	5.4	5	8.2
NPO法人などの民間支援団体	9	6.7	6	8.1	3	4.9
配偶者暴力相談支援センター	27	20.0	9	12.2	18	29.5
法テラスなどの法律専門機関	20	14.8	8	10.8	12	19.7
警察	67	49.6	40	54.1	27	44.3
わからない	42	31.1	20	27.0	22	36.1
無回答	1	0.7	1	1.4	0	0.0

※全体、男性、女性の各割合は、それぞれの生徒数に対する割合



○昨年度と同じような割合の回答となりました。相談先が「わからない」という生徒も3割以上いることから、相談先の周知が必要です。

・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問12. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答) (一部抜粋)

固定概念の撤廃、男女平等な社会づくり

- ・差別や偏見をなくし、固定概念を持たないようにする。
- ・男女に固定された考え方を見直すこと。
- ・女性は女性らしく、男性は男性らしくという考え方をなくすために子供のころから教えればいいと思う。
- ・男らしい女らしいなどといった偏見をなくし、性についての固定観念を壊す意識を高めていくこと。
- ・男だから力仕事、女だから家事をしろという概念をなくして、自分のしたいことを出来る社会が必要だと思う。
- ・男女平等にして何の差別もなくすることが大事だと思う。
- ・男性は女性に対して協力的に優しく接する。女性は男性に対して求めすぎないことが必要。
- ・その人の力量に合った仕事をするべき。(力や能力がある女性なら、力仕事をやってもよいと思う)
- ・女性専用車両だけでなく、男性専用車両も設けてみることに。
- ・男性だけの意見が通るような環境をなくせばいいと思う。また、育児や介護休暇を男性にも女性にも適用すればいいと思う。
- ・性別、見た目に関わらず、能力で人を判断すること。特に仕事の採用、不採用等
- ・差別をなくすこと、どちらかだけの性を尊重したりしないことが必要だと思う。
- ・私はこれからの社会、男女平等は大切なことだと思います。そこで思うことは、学校などの教育の場で、〇〇部の男子、〇〇部の女子とやることを決めることは、男女平等と言えるのかということです。男子は力があるだろうから力仕事、女子は力が弱いだろうから、、という勝手な決めつけに聞こえてしまうし、男女差別になると思います。
- ・女性、男性どちらも経験できたり、仕事できたりすることを増やしていくべきだと思う。女性も男性もお互いをもっと尊重していくこと。
- ・どちらの性別も法を侵害せずに、自分と相手の両者の同意、合意の下で行動すれば、お互い不利益が生まれず、楽に生活できるのではないかと思います。
- ・女性の生きやすい社会にする、というのは逆に、男性の生きにくい社会になりかねないと思います。互いに考え方を認め合い、納得のいく解決策を見出すために、向き合うことを諦めない。その姿勢こそが女性、男性が共同し生きていく良い方法だと思います。また、DVに関しても互いが殴り合っている、男性だけと言われたり、電車でも男性がセクハラと言われることが多いと思うので、難しい問題。
- ・男性でも女性でも自分がやりたいことを自由にやること。
- ・性別によって仕事を押し付けず、互いの意思を尊重し合うことが必要だと思います。
- ・男女ともにお互い協力して支え合うことが大事。
- ・性別関係なく、互いに尊重し合えるようにすればいいと思います。まずは、男女に対しての偏見をなくして暮らしやすい世の中になっていけばいいと思います。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・互いが尊重し合っていけば、生きやすくなると思う。
- ・お互いのことを理解し合って生きていく。
- ・誰に対しても互いを尊重し合う。
- ・各個人の意見に耳を傾け、その意見を尊重する。
- ・相互理解。どのような行為がダメなのか知っておくこと。
- ・全員が差別しない意識を持つ。
- ・相手を思いやる心などの平等を求める気持ち。
- ・自己中心的な考えをしないで、お互いに助け合い、協力し合うことがとても大切。自分に非があるということを理解しつつ、話し合いすることが大切。
- ・一人一人が他人にリスペクトすることでお互いが生きやすくなると思います。
- ・他者を理解し、否定してはならない。
- ・それぞれをパートナーであるのはもちろんだが、男性女性というくくりでなく、それぞれの人だと思い、苦手なことは得意な方がカバーしていき、偏見をなくしていったらいいと思います。

その他

- ・性別を多様にする、また、人それぞれの得意分野を認め合うこと。
- ・「男性」「女性」などの性別でなく、一人の人間として接するべきだと思います。
- ・男性・女性の区別をなくす。
- ・平等と公平を上手に使い分ける。
- ・その人が自分は何で能力を活かせるかを把握することが必要だと思う。
- ・偏見と差別をなくす。
- ・好きなことができるようになればいいと思う。仕事とか能力で見るようにしたり、人付き合いは中身で見た方がよかったり。
- ・差別的考えをなくす必要があると思う。
- ・肉体的な性別をプロフィールの一種（血液型と同じような感覚で）考えられるようになる。心の性別はどちらでもいい。（なんでも良い）